

三里塚闘争50周年

写真展、三里塚映画、演奏ライブ、集会

7・3東京集会へ



ドキュメンタリー映画「三里塚の夏」の上映(上)、福島菊次郎写真展も行います



三里塚闘争はきたる7月4日、空港閣議決定～闘争開始以来50年をむかえます。反対同盟は7月3日に、記念イベント・集会を下記の要領で開催します。周辺地域にお住いの皆さんの参加をあらためて訴えます。

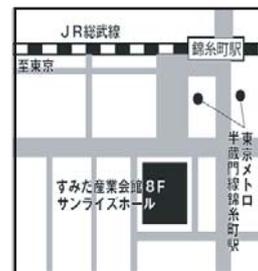
福島菊次郎さんの写真展、映画「三里塚の夏」の上映、ライブ演奏、「福島・沖縄とむすぶ」と題した集会を予定しています。安倍政権の新自由主義、戦争政治によって、人びとが生きられない世の中になっています。市東さんの農地強奪阻止を闘い、強権政治と50年闘う三里塚闘争は「抵抗の砦」として人びとが結集する拠点となっています。三里塚はこれからも闘います。

錦糸町駅 (3徒歩) ・すみだ産業会館へ

三里塚闘争50周年 これからも闘うぞ！
農地を守り、沖縄・福島とむすぶ

7・3 祭・東京集会

- 7月3日(日) 午前10～午後4時
- 写真展～三里塚の映画～ライブ～集会
- 東京・すみだ産業会館 (JR錦糸町駅近く)



福島菊次郎三里塚写真展 7月19日(日)～24日(金)

公津の杜モリンピア

成田完成の遅れ「最大の痛恨事」

黒野元NAA社長が敗北感を吐露

5月31日に都内で開かれた航空政策研究会のシンポジウム「日本の航空・空港 過去・現在・未来 航空政策研究会50周年記念」で講演した黒野匡彦（まさひこ）・元NAA社長が、空港反対闘争への敗北感を語っていたことが分かりました。

黒野元社長は次のように述べたといいます。首都圏空港の歴史について、「当初は現在の成田空港の2倍ある空港が考えられていた。だが政治的に半分に抑えられてしまった」「この間、羽田空港では2000年に新B滑走路が整備され立派な空港になった一方、成田空港は開港そのものが遅れ、78年に開港したが、2本目の滑走路ができたのが02年になってしまった」「この24年の間に、アジアでは大規模空港の整備が進み決定的な差がつけられてしまった。これ



黒野元社長が講演を行ったシンポジウム（5月31日 都内）

は、日本の航空史上の最大の痛恨事」と。

住民を無視し、国家の暴力で強引に進めた「国策」が、住民の抵抗闘争に火をつけ、失敗に終わったことを、航空政策の責任者であった黒野元社長（元運輸事務次官）自身が認めたのです。しかし彼はまったく反省せず居直っています。

第3滑走路位置決定のための4者協

黒野元社長は、石毛博道氏ら利権集団を動員して、「第3滑走路を推進する」と言っているのです。「東峰区住民への謝罪」なる手紙を送ったことを忘れたとでも言うの

でしょうか居直り、住民圧殺の先頭に立つ黒野元社長を弾劾します。8月末～9月初めに4者協議会が開かれ、位置の決定が画策されています。断固阻止しよう。

やぐら裁判、団結街道裁判を闘う

（5月30日 やぐら裁判の後の報告会
弁護士会館）



反対同盟は市東孝雄さんの農地を守る2つの裁判の他に、4つの裁判闘争を闘っています。5月30日に、市東さん宅前にある反対同盟のやぐらや看板の撤去を阻止するやぐら裁判を、6月3日には、市東さん宅前の団結街道の廃道撤回を求める団結街道裁判を千葉地裁で闘いました。

地域住民の声

成田～芝山～多古～

成田市、芝山町の住民から意見を頂きました。第3滑走路を推進する相川町長への批判、「空港城下町」による地域破壊への反対の声です。

相川町長の気が知れない

芝山町・農家（女性）

芝山町は高齢化と過疎化でさびられるばかり。農業切り捨ての政治の責任は大きい。だからと言って、相川町長みたいにもう一本の滑走路を、それも芝山の真上を飛ばし、利権あさりでその場をしのごうというのは間違いだよ。自分で自分の首をしめるようなもんじゃないか。

空港に頼らない方法をまっとうに考えるべきじゃないの。神崎町なんか合併もしないで、街づくりをやっているじゃない。原発に頼って結局、ひどい目にあった福島 of 教訓に学ぶべきだ。「空港城下町」を目指

すんじゃなくて、農業を中心にした街づくりで政治家はもっと知恵をしばるべきだよ。

政治家信用できない 闘う反対同盟応援する

成田市・元会社員（男性）

参院選で選挙だ、選挙だと騒いでいるけど、国政も地方も今の政治家がぜんぜん信用できない。投票に行く気がしない。反対同盟のように、国の横暴に対して50年も闘う努力に頭が下がる。

第3滑走路、とんでもないよ。石毛さんたちは、3本目を造れば、今のB滑走路は南側には飛ばさないから、芝山の騒音は減るなんて、調子のいいウソを言っている。子どもだましじゃないか。しかもBラン北側に1000m延長するのと、セットでやろうとしている。北側住民の騒音はどうなるんだという話じゃないか。

北側の方の騒音を拡大して、住民の生活を破壊しておいて、自分のところだけは、補償金、移転費用、固定資産税であぶく銭を手にする。まともな人間のやることじゃないよ。反対同盟にはこれからもがんばってほしいね。応援する。

福島県民に 帰還＝被曝強制する安倍政権



安倍政権は5月31日、依然として放射線線量の高い福島県 of 原発周辺地域に対して、避難指示を解除し、住民に帰還＝被曝を要求しました。葛尾村が6月12日、川内村は同14日、南相馬市は7月1日の「解除」となっています。安倍政権が住民の帰還強制を急ぐ理由の一つが東京オリンピックです。安倍政権は同オリンピックを「復興五輪」と宣伝しているため、つじつまを合わせるために「復興」の体裁をとりたいためです。住民の尊い命より五輪による国の面子を優先する安倍政権許すな。